

船舶事故調査報告書

平成22年4月8日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年11月27日19時40分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（広島県呉市倉橋町伝太郎鼻灯台から真方位051°800m付近（概位 北緯34°06.9′ 東経132°27.3′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年11月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	モーターボート ^{いちりき} 一力丸、5トン未満 270-18669広島、個人所有 4.69m (Lr) × 1.47m × 0.61m、FRP 船外機、18.39kW、進水年月日不詳 船長 男性 73歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和49年11月19日 免許証交付日 平成20年8月22日 (平成26年8月5日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗船し、いか釣りのため、平成21年11月27日13時00分ごろ、呉市倉橋町大向の係留地を出航した。通常16時～17時の間に帰港する船長が、18時を過ぎても帰港しないため、知人が118番通報をして、海上保安庁の巡視艇が搜索したところ、伝太郎鼻灯台付近で無人の本船を19時40分ごろ発見した。 翌28日10時30分ごろ、伝太郎鼻北東940m付近の海底で、船長の遺体が発見された。死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1、視界良好 海象：平穏
その他の事項	船長は、日ごろ、体調不良を訴えておらず、当日も異常はなかった。 船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。 船体発見時、機関は中立運転で、船体右舷中央から釣り糸が船外に垂れた状態であった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 本船は、伝太郎鼻沖においていか釣り中、船長が、1人で乗船していた本船から落水した可能性があると考えられるが、落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が伝太郎鼻沖においていか釣り中、1人で乗船していた船長が、落水したため、発生した可能性があると考えられる。	